



システム MTU の設定

- ・ システム MTU の設定, 1 ページ

システム MTU の設定

このモジュールは、Cisco Catalyst 3650 シリーズ スイッチおよび Catalyst 3850 シリーズ スイッチシステムの最大伝送ユニットの設定方法について説明します。

機能情報の確認

ご使用のソフトウェア リリースでは、このモジュールで説明されるすべての機能がサポートされているとは限りません。最新の機能情報および警告については、使用するプラットフォームおよびソフトウェア リリースの Bug Search Tool およびリリース ノートを参照してください。このモジュールに記載されている機能の詳細を検索し、各機能がサポートされているリリースのリストを確認する場合は、このモジュールの最後にある機能情報の表を参照してください。

プラットフォームのサポートおよびシスコソフトウェアイメージのサポートに関する情報を検索するには、Cisco Feature Navigator を使用します。Cisco Feature Navigator には、<http://www.cisco.com/go/cfn> からアクセスします。Cisco.com のアカウントは必要ありません。

MTU に関する情報

すべてのスイッチ インターフェイスで送受信されるフレームのデフォルト MTU サイズは、1500 バイトです。

システム MTU の制約事項

システム MTU 値を設定する場合、次の注意事項に留意してください。

- ・ スイッチはインターフェイス単位では MTU をサポートしていません。

- **system mtu bytes** グローバル コンフィギュレーション コマンドを入力すると、そのコマンドはスイッチのすべてのポートに影響します。

システム MTU 値の適用

スイッチ スタックでは、スイッチ メンバーに適用される MTU 値は、スタックの設定によって異なります。次のスタック設定がサポートされます。

次の表では、MTU 値の適用方法を示します。

表 1: MTU の値

設定 (Configuration)	system mtu コマンド	ip mtu コマンド	ipv6 mtu コマンド
スタンドアロンスイッチ	スイッチで system mtu コマンドを入力できますが、システム MTU 値はスイッチに対しては有効になりません。これは、ファストイーサネットポートに影響します。 指定できる範囲は 1500 ～ 9198 バイトです。	ip mtu bytes コマンドを使用します。 範囲は 832 ～ 1500 バイトです。 (注) IP MTU 値は、適用可能な値ですが、設定できません。	ipv6 mtu bytes コマンドを使用します。 指定できる範囲は 1280 からシステムジャンボ MTU 値 (バイト単位) までです。 (注) IPv6 MTU 値は、適用可能な値ですが、設定できません。

IP または IPv6 MTU 値の上限は、スイッチの設定に基づいており、現在適用されているシステム MTU のの値を参照しています。MTU サイズの設定については、このリリースのコマンドリファレンスの **system mtu** グローバル コンフィギュレーション コマンドを参照してください。

システム MTU の設定

システム MTU の設定

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	enable 例 : Switch> enable	特権 EXEC モードをイネーブルにします。 • パスワードを入力します (要求された場合)。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 2	configureterminal 例 : Switch# configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 3	system mtu bytes 例 : Switch(config)# system mtu 1600	スイッチまたはスイッチスタックのすべてのイーサネット インターフェイスの最大伝送ユニット (MTU) サイズを適用します。 • MTU の範囲は 1500 ～ 9198 です。デフォルトは 1500 です。
ステップ 4	exit 例 : Switch(config)# exit	グローバル コンフィギュレーション モードを終了し、特権 EXEC モードに戻ります。
ステップ 5	show system mtu 例 : Switch# show system mtu	設定されたグローバル MTU サイズを表示します。

Protocol-Specific MTU の設定

システムの MTU が変更されると、インターフェイスの **ip mtu** コマンドの範囲も変更されます。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	enable 例 : Switch> enable	特権 EXEC モードをイネーブルにします。 • パスワードを入力します（要求された場合）。
ステップ 2	configure terminal 例 : Switch# configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 3	interface type number 例 : Switch(config)# interface gigabitethernet 0/0	インターフェイスを設定し、インターフェイス コンフィギュレーションモードを開始します。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 4	ip mtu bytes 例 : Switch(config-if)# ip mtu 900	各インターフェイスにおいて送信される IP パケットの最大伝送単位 (MTU) サイズを設定します。 • 範囲は 832 ~ 1500 です。
ステップ 5	ipv6 mtu bytes 例 : Switch(config-if)# ipv6 mtu 1300	インターフェイス上で送信する IPv6 パケットの MTU サイズを設定します。 • 範囲は 1280 ~ 1500 です。
ステップ 6	end 例 : Switch(config-if)# end	インターフェイス コンフィギュレーションモードを終了し、特権 EXEC モードに戻ります。
ステップ 7	show system mtu 例 : Switch# show system mtu	設定されたグローバル MTU サイズを表示します。

システム MTU の設定例

例：システム MTU の設定

```
Device# configure terminal
Device(config)# system mtu 1600
Device(config)# exit
```

例：プロトコル固有の MTU の設定

```
Device# configure terminal
Device(config)# interface gigabitethernet 0/0
Device(config-if)# ip mtu 900
Device(config-if)# ipv6 mtu 1286
Device(config-if)# end
```

システム MTU に関する追加情報

MIB

MIB	MIB のリンク
本リリースでサポートするすべての MIB	<p>選択したプラットフォーム、Cisco IOS リリース、およびフィチャ セットに関する MIB を探してダウンロードするには、次の URL にある Cisco MIB Locator を使用します。</p> <p>http://www.cisco.com/go/mibs</p>

シスコのテクニカル サポート

説明	Link
<p>シスコのサポート Web サイトでは、シスコの製品やテクノロジーに関するトラブルシューティングにお役立ていただけるように、マニュアルやツールをはじめとする豊富なオンラインリソースを提供しています。</p> <p>お使いの製品のセキュリティ情報や技術情報を入手するために、Cisco Notification Service (Field Notice からアクセス)、Cisco Technical Services Newsletter、Really Simple Syndication (RSS) フィードなどの各種サービスに加入できます。</p> <p>シスコのサポート Web サイトのツールにアクセスする際は、Cisco.com のユーザ ID およびパスワードが必要です。</p>	<p>http://www.cisco.com/support</p>

システム MTU の機能情報

リリース	変更内容
Cisco IOS XE 3.2SE	この機能が導入されました。

